

A B A Cはすべての人がビジネスの機会にアクセスできるように求める

メキシコシティ

2015年4月23日

「貿易・投資は開かれていて、予測可能で、透明性を持つ必要がある。ビジネスの全ての分野や地域社会が経済の機会に対し、意義のあるアクセスを可能にすることは喫緊の優先事項である」。これはA P E C貿易担当大臣がフィリピンのボラカイ島に来月集まる際に、A P E Cビジネス諮問委員会（A B A C）が貿易大臣に対して伝える主要なメッセージである。

「10年前にA B A Cが最初に提案したアジア太平洋自由貿易圏（F T A A P）は、1989年にA P E Cを創設した際にリーダー達が描いた、持続可能で、包摂的なビジネス環境を作り上げるための最も現実的な手段である」とA B A C 2015年議長のホー氏は言った。

「われわれは、貿易大臣に対しF T A A Pに向けた道筋に関わる現在の交渉を進展させ、終結させることを求める。現在の交渉には環太平洋パートナーシップ協定（T P P）、アジア地域包括的経済連携（R C E P）、太平洋同盟（P A）が含まれる。ビジネス界は引き続き、昨年北京で進められたF T A A Pのロードマップに対する助言を行っていく」。

「貿易・投資の障害の除去とともに、より多くの機会が仕事を生み出し、われわれの地域社会により多くの繁栄をもたらすことになる。すべての地域社会がグローバルな経済への十分な参画を可能にするための障害の除去や、物理的、人的、制度的な連結性の円滑化によって、あまねく広がる成長が促進される」とホー議長は述べた。「われわれが地域の経済統合の機会を活用するためには、個人と企業、とりわけ中小・零細企業に活力を与えることが等しく重要である、とする理由がここにある」。

A B A Cメンバーはメキシコにおいて、リーダーが検討するためのさまざまな取り組みを提案した。この提案の中には、人材の開発、中小・零細企業の国際化、サービス分野の強化、成長の機会への公平なアクセスを提供する手段であるグローバル・バリューチェーンへの参画促進、が含まれる。

A B A Cはまた、サービス分野の開発に重点を置いているが、この分野はA P E C域内のビジネス活動における雇用（全体の46%）、成果（全体の70%）において唯一最大の貢献を果たしており、中小・零細企業に重要なビジネスの機会を生み出している。

「われわれは、イノベーションと包摂性の間には強い関連性があると考えている」とホー議長は述べた。「イノベーションは、ただ単に新しい技術を活用するだけでなく、物事を新しい方法で行うことである。それは活力の要となるものであり、ABACのアジェンダの中心となっている」。

ABAC会議ではメキシコのイルデフォンソ・グアハルド経済大臣が、開会挨拶を行い、メキシコシティのミギェル・マンセラ市長が会議参加者に対し歓迎の意を表明した。